

掛合自治振興会だより

発行元：掛合自治振興会 島根県雲南市掛合町掛合 2151-1 TEL/FAX：(0854)62-0189 MAIL：kakeya-c@i-yume.ne.jp



掛合トランプ教室開催

トランプ教室開催のお知らせ

二月二十二日（土）毎年恒例の掛合トランプ事業を開催しました。今年度は『もっと掛合トランプをしたことのない人に知ってもらいたい！』ということで、掛合トランプ教室として行いました。その思いが通じたのか、参加者二十八人のうち十人が初めてという嬉しい展開となりました。

まず初めの一時間強は、初心者の方は板垣重夫さん、白菊眞二さんにみっちり教えていただき、経験者の方はゲーム形式でウォーミングアップをしてもらいました。大体初心者の方ができるようにしたら、試合形式のスタートで

す。初心者の皆さんは少々緊張気味ではありましたが、経験者に交じって一生懸命！経験者が初心者に教えている微笑ましい姿もみられました。また各台では「やられたー」「イエーイ！」「やるなー」など、いろいろな声が聞こえていて、とても楽しそうでした。

今年度の掛合トランプ教室は、掛合地区の方、掛合町外の方、外国の方など様々な方との交流となり、とても楽しく賑やかなものになりました

年々掛合トランプに参加される方が少なくなってきました。掛合伝統の掛合トランプを何とか伝

承できるように、来年度以降も頑張っていこうと思っていますので、少しでも興味のある方は親子、友達、ご近所誘い合わせ参加して頂けると嬉しいです。

今年度もたくさんの方に生涯学習部事業に参加していただきました。本当にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。



みんなで話し合い

助け合うことが

February

自治振興会では、避難行動要支援者名簿(以下「名簿」という)の目的や利活用について雲南市健康福祉部健康福祉総務課の周藤主幹、掛合総合センター市民福祉課の和田次長、吾郷主幹を講師に迎え、自治会長、代議員、自治振興会役員、防災安全部員を対象に説明会を行いました。

最初に松村会長が、「本日、出席の皆様には今年度防災の会が多く行われ、その都度真剣に参加していただいたおかげで安否確認情報伝達訓練まで出来て良かったと思います。本日は名簿について勉強してもらい、住民の皆様の安心と防災の備えになればと思います」と挨拶を行いました。

名簿の目的及び利活用について、雲南市の周藤主幹から、

●名簿は、もしもの時に、自分ひとりでは避難出来ない方(要支援者の命を守るために、普段の見守りや声掛けを「いざ」という時に活かすもの

●名簿は災害が発生した時に「誰」を

「誰」が「どのように」避難の手助けを行うか、予め決めておくもの

●消防や警察などの関係機関との情報を共有し、平時より意識を高めるとともに、防災体制を構築するために必要

●名簿をつくることも重要ですが、平常時の地域の支え合い・助け合いで、安心して暮らせる地域づくりが最も重要

と説明をしていただきました。

名簿記載の留意点について、徳島防災安全部長から、

①安否確認情報伝達訓練の時に、不在者が昼間に多いことが問題になりましたので、名簿には支援する方の昼間と夜間の名前と連絡先の

記入をお願いします。

②掛合交流センターが指定避難所に指定されましたので、指定避難所を交流センターと記載してください。

(注) 災害が発生した場合は、市の災害対策本部の指定した避難所へ避難してください。

③福祉避難所の好老センター、えがおの里は、車椅子や人工透析などが必要な方を記入し、介護・医療など必要なことを具体的に記載してください。

と説明を行いました。



質疑応答では、

①現在ある名簿は、一から作り直すのではなく、二重線で訂正をお願いします。

②要支援者がいない場合にも自治会内にいないことを電話等で交流センターへ報告をお願いします。(死亡者等も同様)

③市役所の健康福祉部の有事の際の役割は、インフラの確認と避難所の開設・準備等をするようになる。

と回答されました。

福祉部総会 開催

二月十八日(火)福祉部の今年度の締めくくりとして

総会をしました。今年度の反省と来年度の事業について沢山のご意見を頂きました。福祉部員の方には本当にお世話になりました。

一年を振り返ってみますと、昨年五月福祉部総会の中で『声掛け』『見守り』の大切さ、そしてサロンの必要性を話し合い、年間事業として男の料理教室、まめかね訪問、ウォーキング、そして健康福祉まつりなどを計画し、多くの皆様に参加して頂き取り組むことができました。ありがとうございました。

また、月二回のいきいきサロンをはじめ、少しずつではありますが、自治会サロンも動きつつあります。そして今後の五ヶ年計画では福祉部として、『人』『暮らし』を重点とした事業を計画します。

今後も福祉部の事業にご理解ご協力をよろしくお願い致します。

(文責 福祉部長白菊)



干支・ねずみ年会



今年の干支『ねずみ』に因み、先人がかつて諸事情で成し叶わなかった『第一回のねずみ年会』を二月九日、掛合まめなかセンターで盛大に開催されました。

各地区、年代からのお世話人十一名に依り、対象者一八〇名の名簿作成から始まり、三回の会議を重ね、一年がかりで準備を進めて参りました。

五十八名という多くの方々の出席を頂き、代表の竹下三郎様の挨拶から始まり、最高齢の安食様の乾杯の音頭へ。

そしてアトラクションは陶山様率いる御一行様による素晴らしい安来節、どじょう掬い踊り、銭太鼓等に感動をもらい盛況のうちに楽しい一日を過ごしました。

【柔和で明るく・穏やかで】人から好かれ・人付き合いがよく・忍耐強い・几帳面で真面目で実直・集まりやすい】



という、『干支・ねずみ』の特徴は、正に出席者お一人に当てはまっており、益々親睦が深まり、絆が強くなったと確信しております。

最後に、朝山様による万歳三唱で『次回十二年先の開催』につなげられる事を願い、散会しました。

(文責 ねずみ年会世話人)

こんにちは。生活支援コーディネーター兼コミニティナースの森脇です。

去年四月から掛合地区を担当させて頂きました。一年間を通して掛合自治振興会や住民の皆さまと地域づくりや地域福祉の面で一緒に取り組ませて頂きました。

皆さまの期待に十分に應えることができなかったかもしれませんが、掛合地区のこれからの地域づくりに少しでもお役に立てたことを大変嬉しく思います。一年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

緑に感謝

大学生の川合です。

私は勉強で掛合に一年間お邪魔しました。思い返すと掛合のいろんな方にお世話になりました。たくさん学びや経験がありました。

身勝手ですが、掛合は再び帰って来たいと思える故郷です。四月から再び山形の大学に通います。夏休みなどでまた帰ってくる予定なので、そのときはよろしく願います。

本当にありがとうございました。

天ちゃんの防災教室 第二部

河川の管理状況①

普段から河川は国が管理するが、どのような状況で災害対策がなされているかを知ることが少なかったはずだ。

近年のような大水害が起きて、報道などではどのようなメカニズムで起きたかを多くの人が知る事ができるわけです。一般に日々の雨でいつも洪水が起きるわけではありません。ほとんど人の手が入っていない小さな川でも、晴れた日には清流に戻るのです。雨水は下流に下ると多量の水が集まって洪水となりその時の降水量によって予測できない大災害になるわけです。

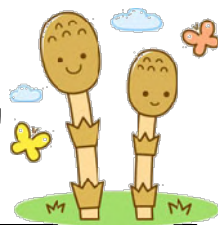
現在は多くのデータを物理的に解析し、大雨で河川が災害を引き起こす要因の値から様々な災害が予測されるわけで、その中には近年温暖化による雨降りのメカニズムでこれまでの河川では対応できない状況が起きます。経験値に温暖化が加わり今までの災害からでは想像できない現状が起きています。

これが昨年の台風15号・19号で東日本の各地で起きた広範な地域の大災害です。





交流センター4月カレンダー



日	曜	行 事	教室・サークル等	日	曜	行 事	教室・サークル等
1	水		・さざんかの会 ・ライオンズ	17	金		・そろばん
2	木		・コール・ヨリージョ	18	土		・トールペイント
3	金		・そろばん	19	日		
4	土			20	月		
5	日			21	火		・ケアピラティス ・ストレッチ教室 ・そろばん
6	月			22	水	・いきいきサロン	・手編み教室
7	火		・ケアピラティス ・そろばん・ストレッチ教室 ・ひまわり教室	23	木		・さわやかクラブ ・コール・ヨリージョ
8	水	・いきいきサロン ・専門部員合同会議	・手編み教室	24	金	・自治振興会総会	・そろばん
9	木	・掛合小掛合中入学式	・コール・ヨリージョ	25	土		
10	金	・狂犬病予防接種 15:30~	・そろばん ・切り絵同好会	26	日		
11	土			27	月		
12	日			28	火		・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん
13	月			29	水	・昭和の日	
14	火	・自治会長会	・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん	30	木		・コール・ヨリージョ
15	水	・行政相談	・さざんかの会 ・ケアポートよしだ				
16	木		・コール・ヨリージョ	※ は休館日です。 予定は変更されることがあります。			

掛合中学校 1 年生 来館

ユニバーサルデザインを探そう！

2月12日（水）、掛合中学校1年生が福祉学習のために来館し、交流センター内のユニバーサルデザイン(*)を探索しました。

自動ドア、手すり、多機能トイレなど沢山見つけ、あらゆる所に使用されていた事に感心していました。

※年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわ

